

今年の集団検診の

受付は終了しました。

個別で受診することができますので、事務所にてお申込み下さい。1年に一度受診しましょう。



編集・発行
建設ユニオン 多摩北支部
東久留米市滝山 7-23-17
TEL: 042-479-2260

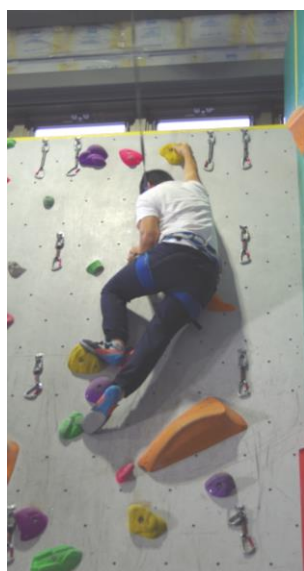
ツイッターで情報を配信中
HPから閲覧できます。



青年部が初めて企画した「ボルダリング体験会」子供から大人まで誰でも楽しめる 会場 GIRIGIRI (西東京市)

10月22日にボルダリング体験会を青年部主催で開催しました。台風が近づき、当日は大雨となりましたが、他支部からの参加もあり21人の仲間が集まりました。

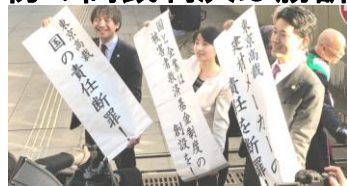
やってみるとすごく難しい。ただ登るだけではなく、どこに手をかけ、どこに足をかけるかと、体力以上に頭を使うスポーツだというところがわかりました。5m位の高さの壁にも挑戦しました。初心



身動きが取れず、焦る池田さん 体力は限界

青年部
ボルダリング体験会
体力と知力でゴールをめざす

建設アスベスト訴訟
初の高裁判決は勝訴



初の「高裁」での判決が10月27日に下され、国やメーカーの責任が認められる結果となりました。

しかし、依然として一人親方は対象外であるなど、決して満足可言える結果ではありません。戦いは続きます。引き続きご協力をお願いします。

者向けのルートがあるので、誰でも挑戦することが出来ます。ゴールまで行けると達成感があり、次のルートを登ってみようという想いになりました。

参加者からはまたやりたいという声が多数あり、大成功のイベントとなりました。

定期的なイベントを

年齢まで楽しむことができるスポーツです。体験会のあとはBBQを企画していましたが、残念ながら天候に恵まれず、支部事務所での懇親会となりました。



子供の身軽さに驚く仲間達

第66回 大手企業交渉報告

新国立競技場での労働者の過労自殺事件を受けて、各企業に二度とこのようなことが起きないように、就労環境の改善を強く訴えました。

現場労働者の賃金は、春とほとんど変わることがなく、依然として設計労務単価からは程遠い実態です。

私は五洋建設の交渉に参加しました。その中で「支払いは手形から現金に換えて下請けの負担軽減に協力したい」という話がありました。今後も1つ1つ、改善を求めていきます。

(賃金対策部長 小暮)

ほのぼの

先日横浜地裁、東京高裁と続けて建設アスベスト訴訟の判決が下され、国や企業の責任を認める判決となりました。

次々と勝訴の判決が出ていますが、判決を迎える前に亡くなる原告も多く、審理の迅速化と言った事も大きな課題です。

2016年のアスベストによる労災認定者は千人を超えています。1972年にはWHOによるアスベストの発がん性が発表されたにも関わらず、日本はアスベストを輸入し、使用してきました。

そして今、苦しむ仲間が日本中にいます。アスベストの含まれた建物の解体も日本中で始まるそうです。補償基金制度の創設を早急に進めてもらいたいものです。塵肺対策だけではなく、必ず労災保険には加入しましょう。(T)